

寅さん歩 その 18

東京の学食めぐり-23



平野 武宏

「寅さん歩」の愛読者からの要望で始めた「東京都にある大学の学食めぐり」です。最近是一般の人も食べられる学食が増えています。このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないよう配慮します。メニューの選択やコメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。構内の写真撮影は建物外観のみで人物が写り込まないことが原則です。学食のメニューや値段は訪問時のものです。右上写真はパンダの食事風景です。食べ過ぎて、こんなに太らないよう注意したいです。東京 23 区内の大学の学食をひとまず終えて、多摩地域の一橋大学を訪問しようと企画しましたが、東京大学駒場キャンパスの訪問を忘れていたのに気づきました。最寄り駅は代表例です。

〔東京大学 駒場キャンパス〕 目黒区駒場 3-8-1

最寄駅 京王井の頭線 駒場東大前駅

本郷キャンパス(本部)は「学食めぐり-その5」で訪問しています。駒場キャンパスはめでたく東京大学に合格すると、最初に学ぶ教養学部があるキャンパスです。この地には現在の東京大学農学部がありました。東京大学農学部は昭和 10 年(1935 年)向ヶ丘(本郷校地の一部)の旧制第一高等学校と校地を交換・移転しました。代わって移転して来た旧制第一高等学校は新制東京大学に包括・廃止となるまで、ここを校地としました。そして新制大学移行により旧制第一高等学校に代わり、東京大学教養学部がこのキャンパスに設置され、現在に至っています。駒場東大前駅の東大口を出ると、正門(写真下左)、写真下右は時計台がある教養学部 1 号館(旧制第一高等学校本館)です。



右手にすすむと、東京大学駒場博物館(写真下左)(旧制第一高等学校の図書館を利用した美術博物館・自然科学博物館)、101号館(写真下右)と歴史を感じさせる建物があります。構内には建物を写生をしている方が多くいました。



さらに銀杏並木方面へ進んだ南館に学食があります。教養学部



の学生は未成年者が多いので、幼顔の学生をよく見かけました。学食は東大生協の運営で1F 若葉、2F 銀杏と名が付いていました。写真下は1F 若葉の玄米オムライス 522 円(生協組合員はさらに 10%引き)「玄米は疲労回復に効果あり」と記載。



2F に上がり、銀杏で食べた冷やし担担麺 503 円(組合員はさらに 10%引き)(写真下)で、 価格は1・2F ともワンコイン 500 円中心。



平日の営業時間は 11 時～14 時。「11 時 30 分～13 時は学外者の利用はご遠慮ください」との掲示があり。その関係か、構内にはイタリアントマト(写真下左)やルヴァソンヴェール(写真下右)がありました。ルヴァソンヴェールのランチは 1,080 円とコース 2,160 円(コースは要予約)があります。ディナーもあり、フランス料理のグルメスポットとか。



東側奥には駒場池(通称一二郎池)がありました。本郷キャンパスの三四郎池に対して呼ばれるようですが、農学部時代に養殖池として使われたそうです。

生協には東大饅頭ほか食べる大学グッズが本郷キャンパスより狭いスペースでしたが、販売されていました。食べる大学グッズは「学食めぐり-5」を参照ください。

〔一橋大学〕 国立市中 2-1 最寄駅 JR 中央線 国立駅

東京大学に並ぶ、超難関校です。国立駅南口からの大学通りの両側は桜と銀杏の大木の並木道です。キャンパスは道路の両側にありますが、駅から右側を歩いて行く西キャンパス(地区)の門から入りました。森のような緑の中に歴史を感じさせる建物です。



西地区入口の門



兼松講堂



本館



付属図書館

兼松講堂は株式会社兼松(現兼松株式会社)から創業者 兼松房治郎翁の遺訓により寄贈を受け、昭和 2 年(1927 年)に創建されたロマネスク様式の建物。附属図書館には研究室などもありました。資料館にあった「一橋大学の歩み」の小冊子を読むと官立ゆえの苦難の学園史を知りました。

明治 8 年(1875 年)森有礼が東京銀座尾張町に商法講習所を私設。その後、東京会議所の管理、農商務省、文部省直轄の東京高等学校、東京高等商業学校と改称。文部省の専攻部廃止に対する申西事件(当時は商人に商業大学は不要の意識)を乗り越え、大正 9 年(1920 年)東京商科大学となります。関東大震災で神田一ツ橋の校舎を失い、国立・小平へ移転。昭和 6 年(1931 年)予科・専門部廃止に対し籠城事件が起こる、昭和 22 年(1947 年)3 年前に改称の東京産業大学

から東京商科大学に復活しました。昭和 24 年(1949 年)一橋大学の改称。産業界の指導者を育成するという建学の精神で日本最古の社会科学系大学で、商学、経済学、法学、社会学部があります。

学食は付属図書館の左手奥にある西プラザ(大学生協)です。



学食入口



メニュー棚



冷やし担担麺 453 円を選択。
東京大学駒場キャンパスと比較
すると、安い価格で量は少なめ
味はドローでした。

道路を渡り、東地区へ行きます。
東地区が最初の敷地とのこと。
門も古いです(写真下左)



写真上右は門を入り左手の東本館、写真下左は時計のある東 2 号館、
写真下右は学食のある東プラザです。
東地区が最初の構内なので、昔の姿が多く残っていました。



写真上は学食入口とメニュー棚。
メニューは西プラザとほぼ同じ。
写真左は 278 円（豆腐腐とわかめ
の味噌汁 32 円、こうなごの南蛮漬
け 64 円、ひじき煮 64 円、ミニラ
イス 54 円）レジで「健康食ですね」
と言われ、「食べ過ぎに注意です」
と答える寅次郎です。二食目ですと
は言えませんでした。

寅次郎の父は前身の東京商科大学の卒業で、端艇部のエイトの選手だったそうです。端艇部は明治 18 年(1885 年)に始まる部活で最も古い歴史を持ち、学生スポーツの花形だったそうです。英国のオックスフォード大とケンブリッジ大対抗戦を真似た帝大(東大)とのボート対抗戦は帝商戦と言われたそうです。幼い頃、隅田川での対抗レース応援について行き、勝ってコックス(舵手)をみんなで川に投げ込むシーンを思い出しました。

次回は 東京の学食めぐり-24 です。

平野 寅次郎 拝